

プロジェクト名： バーミンガムレジリエンスプロジェクト

基本情報

国,州：	イギリス、バーミンガム
事業体名：	セバントレントウォーター
予算規模：	242万ポンド（約3億5,100万円） [1 £ = 145.17円(2018.3.19時点)]
期間：	2016年～2019年（進行中）
備考：	- セバントレントウォーター（Severn Trent Water）は、1989年に設立したバーミンガムの民営水道公社。 - バーミンガムを中心に、430万人に対し水を供給している。



概要

- ・導水管路の複線化をするため、新たに、ヒルリックに位置するセヴァン川から、フランクリー浄水場をつなぐ全長26kmの導水管の布設を行う。
- ・新たに導水管を布設することで、バーミンガムの周辺地域の約100万人の水を確保する。
- ・2017年までに12kmの管路の布設が完了している。
- ・主に「オープンカット工法」で管路を布設している。

背景情報

- ・バーミンガムの南西部に位置するエラン谷～フランクリー浄水場をつなぐ導水管は、1904年から使用されており、布設されてから100年以上経過しているため、老朽化が問題視されていた。
- ・導水管を布設替する際は長期間の断水を伴うため、導水管路の複線化を目的とした「バーミンガムレジリエンスプロジェクト」が、2016年10月にスタートした。

参考資料等

seven trent waterのHP
<https://www.stwater.co.uk/in-my-area/planned-improvements/birminghamresilienceproject/>
 プロジェクトの概要
http://www.waterprojectsonline.com/case_studies/2015/Severn_Trent_Birmingham_Resilience_2015.pdf